

February 19, 2008

JAWIC

Seattle News

ウェアハウザー社、カムループス工場の閉鎖を決定

ウェアハウザー社は2月18日、BC州内陸部のカムループス工場を本年5月12日をもって閉鎖すると発表。昨年、インターフォー社への売却が頓挫して以来新たな買い手を探していたが、これを断念したもの。同工場に付帯する州有林の伐採権(年間許容伐採量 756,000m³)はウェストフレイザー社に譲渡する。ウェストフレイザー社はその約1/2に相当する356,000m³をインターフォー社に譲渡することとなっている。これまでカムループス工場に向けられていた素材は、ウェストフレイザー社ではチャズム工場および100マイルハウス工場、一部ピーラー材はウィリアムズブレイク合板工場、インターフォー社ではアダムズブレイク工場に仕向けられることとなる。

カムループス工場の年間生産能力は約49万m³あり、米国向けのディメンションランバーおよび日本向け2x4住宅用ランバーを生産していた。196人が失職することとなる。BC州に残るウェアハウザー社の針葉樹製材工場はプリンストン工場(年間生産能力約60万m³)のみとなる。